

月刊 さいとう健けん

発行所：自由民主党本部 定価1部108円(税込) 毎週火曜日発行
住所：〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話：03-3581-6211(代表) ホームページ：http://www.jimin.jp/

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、初当選。3期目。環境大臣政務官、
党副幹事長、党農林部会長を経て、現在、農林水産副大臣として農政
改革やTPPなど、安倍政権の最前線で奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)



やっぱり男

6月号
平成28年6月10日発行

「アベノミクスと消費税」

さる6月1日、安倍総理は消費税10%引き上げの2年半延期を表明しました。一方、野党は、アベノミクスは失敗したとの論陣を張っています。今号では、本件についてのさいとう健の考えをお伝えしたいと思います。

＜復習・アベノミクス発動の背景＞

まず、アベノミクスを行うに至った背景を思い出していただきたいと思います。

平成24年12月、安倍政権が誕生する前、先進国の中では、日本だけが15年にわたるデフレに苦しみ、日本だけが低成長にあえいでおりました。

デフレ経済の下では、物価が下がり続けますので、企業がせっかく設備投資をしても収入は目減りしていくこととなります。ですから、借金してまで投資をしようという意欲は失せます。

また、年々物価が下がるのでしたら、あとで買った方が得だということになり、個人消費も盛り上がりません。

結果、先進国の中で、日本だけが経済活力を失っていったのです。

＜アベノミクスの狙い＞

アベノミクスの狙いは、この縮こまったデフレマインドを前向きに転換して好循環を作り上げていこうというものでありました。

(裏面に続く)



オープンガーデンでは毎年不思議な花に出会えます。これはエゴノキです。

コラム

3年前 → 日本経済3年間の変化 → 平成28年3月

名目GDP

(出典)内閣府「四半期別GDP速報」

473兆円

(平成24年10-12月期)

27兆円増加

500兆円

(平成27年10-12月期)

企業収益

(出典)法人企業統計季報(経常利益(金融業、保険業を除く))

49.6兆円

(平成24年)

過去最高水準

70.8兆円

(平成27年)

株価

(出典)ブルームバーグ

8,661円

(平成24年11月13日)

一時2万円台をつける

16,758円

(平成28年3月31日)

賃上げ率

(連合集計)

1.72%

(平成24年)

17年ぶりの高水準

2.20%

(平成27年)

失業率

(出典)総務省「労働力調査」

4.3%

(平成24年12月)

18年ぶりの水準

3.2%

(平成28年1月)

有効求人倍率

(出典)厚生労働省「一般職業紹介状況」

0.83倍

(平成24年12月)

24年ぶりの高水準

1.28倍

(平成28年1月)

倒産件数

(東京商工リサーチ)

12,124件

(平成24年)

25年ぶりの低水準

8,812件

(平成27年)

(おもて面から)

つまり、年率2%の物価上昇を実現し、投資や消費を前向きなものにしていこうというものであり、このようなインフレ目標を掲げて経済政策を行うということは、既に多くの先進国でも行われているものであります。

まずは、日銀と協力して異次元の金融緩和に踏み切り、2%の物価安定目標も設定いたしました。同時に、最初から民間の設備投資が盛り上がるということは考えにくかったので、先行的に財政出動による景気対策を講じました。さらには、中長期的な成長戦略も組み上げていくという段取りで、アベノミクスが実行に移されていくことになったのです。いわゆる三本の矢です。

<アベノミクスの結果>

そして、3年あまりが経ちました。日本経済はどうなったでしょうか。景気回復の実感がないという方も多くおられるのもよく承知しておりますが、基本的データは押さえておく必要があると思いますので、おもて面のコラムに掲載させていただきました。皆さんは、これをどう判断されますでしょうか。

<アベノミクスの評価と消費税>

さいとう健には、正直、現在のわが国経済は安定成長軌道に乗り切れていないように見えます。

ただ、ここで大事なことは、これでアベノミクスが失敗したとみては絶対にいけないということです。

我が国の経済状況が当時想定したように展開していないのは、大きく二つの要因によるものです。一つは、中国経済の不安定化によるものであり、この不安定化がブラジルなどの新興国の経済の悪化を招いています。安倍総理が伊勢志摩サミットで世界経済がリスクにさらされていると表明した際、言い過ぎではないかとの批判がありましたが、さいとう健は、中国に端を発する現在の世界経済の状況をあまくみては絶対にいけないと思っています。

もう一つは、消費税の8%への引き上げが思ったよりも景気に悪影響を与えたことです。総理もかつて予定通りの10%への引き上げを言明したわけですから、見通しの甘さについて猛省をしなければいけないと思いますが、だからこそ今回の消費税の引き上げ延期は、さいとう健はやむを得ないものであったと思います。

さいとう健の見立てでは、予定通りの消費税の引き上げを行った場合には、おそらく、日本経済に相当の悪影響を与えることになり、ついには、今後長期間デフレ脱却のチャンスが失われる、こういうことになったと確信しています。

大事なことは、現下の情勢は、アベノミクスが失敗したのではなく、その後の新しい情勢によって引き起こされてる問題なんだということを冷静に認識することです。ここを読み間違えて、アベノミクスは失敗したから金融緩和はやめようなどということになったら、円高は急進展し、株価は暴落するなど大きな混乱を招くことになるでしょう。アベノミクス失敗を声高に叫ぶのは自由でありますが、では代わりにどういう経済運営をするのかを具体的に示していただかねばなりません。特に、金融緩和をどうするかについて。

20年にわたる経済停滞です。そう簡単に治るものではないでしょう。ですが、この道以外に、日本経済を再び安定成長路線に乗せていく道は私には思いつかない。そして、経済成長の果実を、医療、介護、子育てなどの社会保障にやさしく使っていく。

やはり、この道しかない。今回の消費税引き上げ延期の判断も、この道を進んでいく上でのやむを得ざる応用動作であった、さいとう健はこう考えております。



今年はお茶会ではなく貝合わせに参加。思わぬ才能を発見し、盛り上がりました。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざを突き合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。ぜひ企画して呼びいただければ幸いです。

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
〒270-0137 流山市市野谷665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224 E-mail:info@saito-ken.jp
さいとう健 国会事務所
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。
月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。
返信すれば匿名で意見を伝えられます。
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料